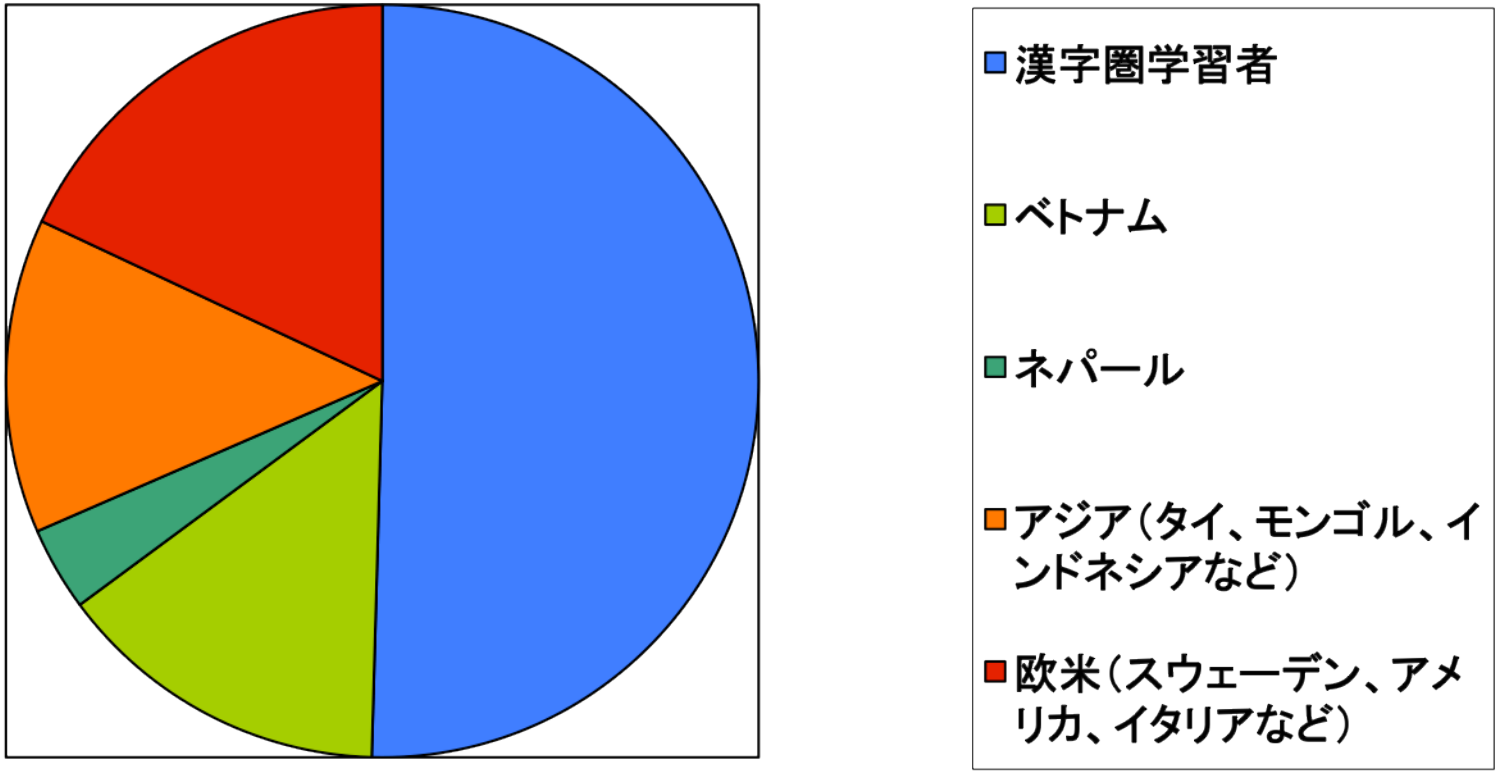
漢字指導の実践共有

横浜デザイン学院日本語学科　佐久間みのり

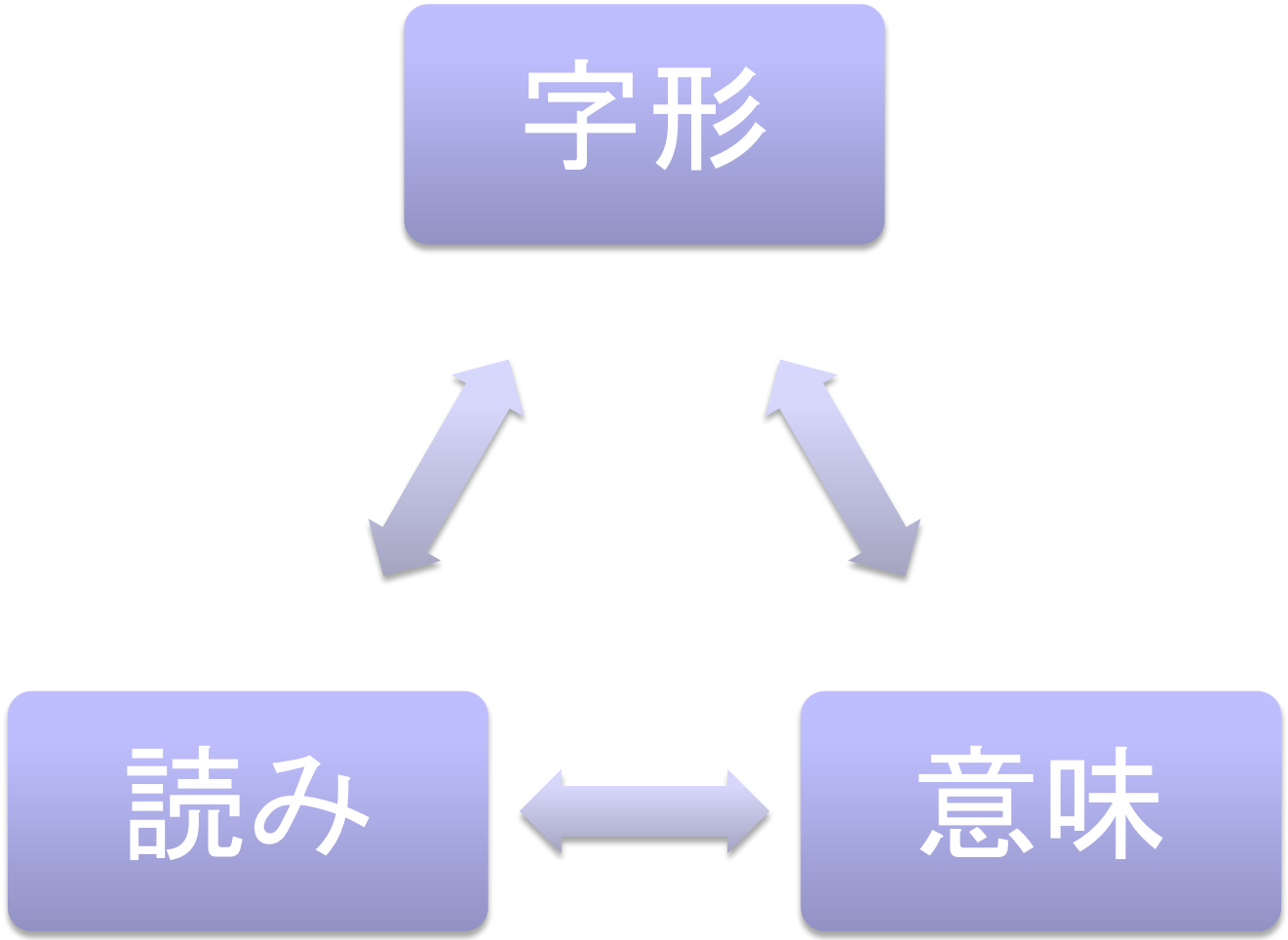
横浜デザイン学院日本語学科の学生国籍



クラス編成

クラス	漢字指導
漢字圏クラス	読みを中心に、特に１日の中で漢字学習時間は取らない
非漢字圏クラス	１日1コマ（45分）程度、漢字学習の時間を設ける
混合クラス	クラスの状況に合わせて

漢字習得の問題点



①漢字をアウトプットするための小道具

活用例

活動の流れ

①学生に1人1つずつ、ミニホワイトボード、ホワイトボードイレイザー、ボード用マーカーを配布する。

②新出漢字を導入。ワークシートに書かせる前に、まずボードに1つ、大きく書いてもらう。

③書いた物を掲げてもらい、字形が正しいかどうか、誰の字がきれいか、お互いに評価する。

期待される効果

①大きく書くことにより、はね・とめ・はらいなどの細かい部分を注意するようになる。

②お互いの字を見合うことで、表記についての意識が高まり、字がきれいになる。

①ミニ・ホワイトボードを小道具に

気づき

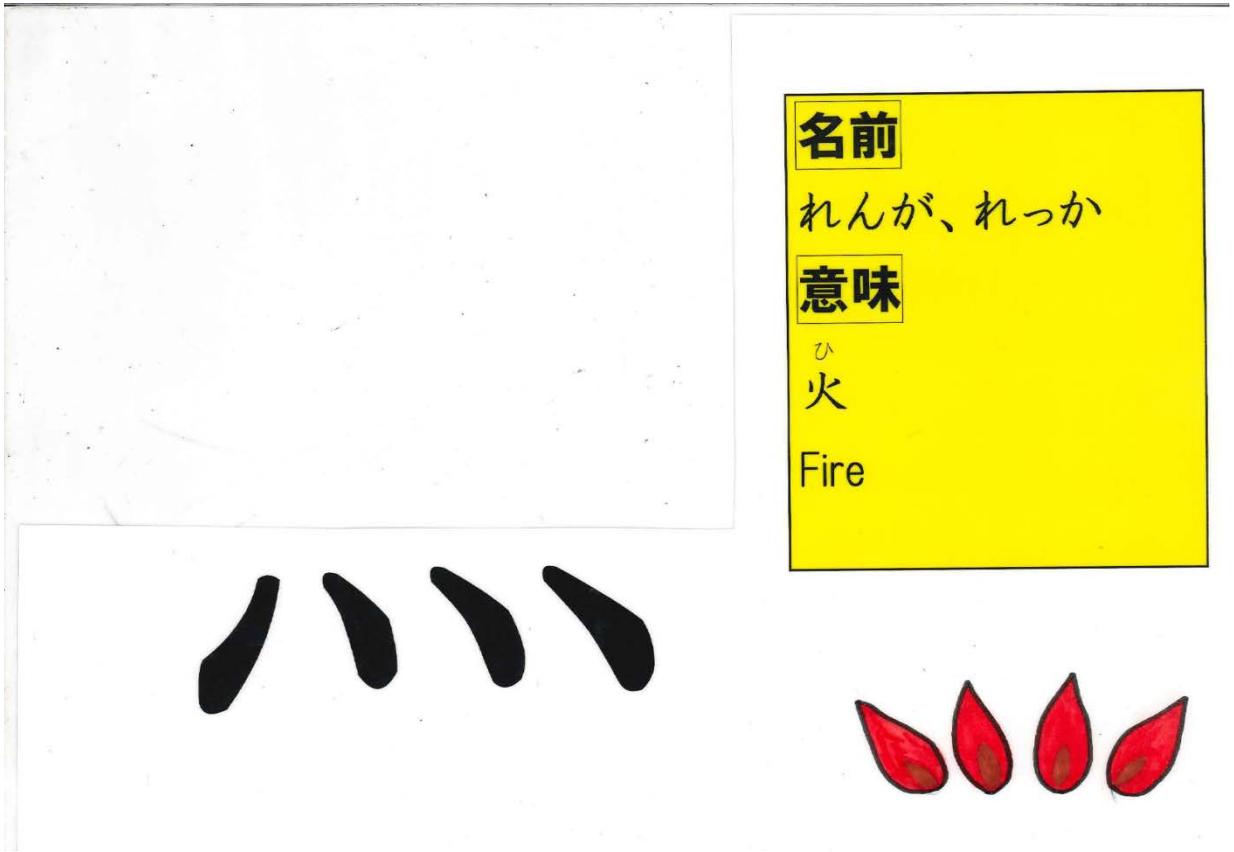
私の実践

漢字指導

？

＋アイデア

②漢字を整理するための小道具



活用例

活動の流れ

①漢字を導入する際、部首カードを使いながら意味を教えていく。

②復習として、同じ部首を持つ漢字を挙げさせる。

点、熱、無、煮など。

期待される効果

①漢字を覚えていく上で、記憶する手がかりになる。

②漢字自体を覚えていなくても、部首の意味から推測できるようになる。

②部首カードを小道具に

気づき

私の実践

漢字指導

？

＋アイデア